

「本気で モノ作りたい。」

ものづくりに興味がある。
デザインを学びたい。
面白い記事を書きたい。
雑誌作りに関わってみたい。
そんなあなたの思いを形にします。

広報局では、企画・取材・レイアウト・編集
といった、雑誌作りにおけるすべての工程を
自分たちの手で行っています。
編集者の一員として誌面作りに挑戦してみませんか？
何もわからなくても、私たちが全力でサポートします。

一緒に虹の旗を作りましょう。

広報局 魅力体験会のお知らせ

日時 4月19日(火)
集合場所 8号館2階0822号室
持ち物 筆記用具
対象 新1,2年生
記事作りの体験をすることができます。
広報局の活動に興味のある方は是非ご参加ください。

生協学生会・広報局
E-mail nijihata.kitcoop@gmail.com



【にじのはた】4月号
2017年3月25日発行 通巻第221号 ■制作/京都工芸繊維大学生協学生会広報局 ■発行/京都工芸繊維大学生協同組合理事会 住所:〒606-0962 京都市左京区柳ヶ町御所南道町 電話:075-781-5359 ■印刷/株式会社きかんしん

楽しくなる、予感。

虹の旗

NIJI no HATA
PRESENTED BY
KYOTO INSTITUTE of
TECHNOLOGY
COOP STUDENT COMMITTEE
PUBLIC RELATIONS DEPARTMENT

Volume 221
2017.4
TAKE FREE

▶特集

数える休日。

<people> 01or09

<years old> 08or80

<yen> +7000or-53217

<date> 2002.10.06or2017.03.10

<days> 172/365or194/365



なぜだろう
浮かぶのは、君のことだけ。

虹の旗 Vol.221
2017.4

CONTENTS

▶ 特集

数える休日。

- 03 01 or 09
- 07 +7000 or -53217
- 11 167/365 or 198/365

HIGHLIGHT



▶ 特集

数える休日。

何をしてもいい日、それが休日。

遊んでもいいし、働いてもいい。むしろ何もしなくていい。

休日ってすごく自由。

でも、それゆえに、とても漠然としてますよね。

理系的にはちょっといただけません。

なので、この特集では色々な休日を色々な数で表してみました。

ちょっと極端なのを2つつ。

あなたの休日は、どんな数になりますか？



08

kid

8歳の休日

今日は何をしましたか

チャンバラと、にんげんちえの
わと、した。

にんげんちえのわで、てきチー
ムが「もうムリ！」っていうまで
ぐるぐるにできたのがたのし
かった。

あと、クレープ食べた

楽しかったですか？

たのしかったけどチャンバラの
時間がみじかかったのと、おや
つがすくなかった。

クレープ3つ食べてたよね？

うん。

80

elder

80歳の休日

老人は毎日が休みたいなものだからねえ、暇なものですよ。毎日の過ごし方と言ったら、新聞を読んで、読書をして、散歩をして、たまに俳句を詠んだりスケッチをしたりというかんじです。今年に入ってからは古典を読むのに凝っててねえ、最近は古事記と土佐日記をね、読んだんだよ。現代語訳でなく、原文ですよ？すごいでしょう。これからは平家物語を読もうと思ってます。散歩は、おばあちゃんが脚を悪くしてからお医者さんに歩けて言われているからね、毎日一緒に30分とか、1時間とか、その日の気分で歩いています。俳句はNHK俳句のテレビに投稿してるんですよ。2回佳作に入りましたよ。最近遠くには旅行できなくなっちゃったんでね、のんきに楽しく過ごしています。

+7000

earn

かせぐ休日

皿洗いぼく



今日の僕は一日中アルバイト。皿を洗う、ただそれだけのことを延々と続ける。全ては現代社会の要である、貨幣のために。

10:43

起床

11:58

バイト開始



時給発生!

+3000

16:00

休憩に入る

17:28

バイト再開

時給発生!

+800

20:30

解放

22:30

就寝

10:43	0
11:58	0
13:00	1000
14:00	1000
15:00	1000
16:00	1000
17:28	0
18:30	1000
19:30	1000
20:30	1000
23:30	0
+	7000

+7000 円

ある人は言った。
“せっかくの休日、
働かないのはもったいない。”



時給発生!

13:00

+1000

皿と格闘する

16:13

昼食をとる

時給発生!

+2200

19:42

皿に苦しめられる

20:45

帰宅



ある人は言った。
“せっかくの休日、
貢がないのはもったいない。”



07:08

夜行バスで
東京駅に到着

大金が飛ぶ!



大金が飛ぶ!

11:00

秋葉原を満喫

金が飛ぶ!



14:18

ライブに備え、
うどん屋で昼食

15:44

ライブ終了

18:46

東京駅に到着

金が飛ぶ!



20:19

東京駅で
お土産を買う



07:43

朝食を食べる

-630

金が飛ぶ!

08:59

オタクの聖地
秋葉原に到着



14:06

六本木駅に移動

15:30

開場

16:30

ライブを楽しむ

-6800

金が飛ぶ!

19:42

東京駅で夕食

-1480

金が飛ぶ!

22:10

バスで京都へ出発

-10800

大金が飛ぶ!

-53217

spend

つかう休日

オタクぼく

今日の僕は東京へ。財布の紐どころか表面すら綻んでいる。欲しいものが紙を渡せば手に入る社会。嗚呼素晴らしきかな。



07:08	9700
07:43	630
08:59	20550
12:00	0
14:18	460
16:30	6800
18:00	0
19:42	1480
20:19	2797
22:10	10800
23:00	0
-	53217

-53217 円

2017.03.10

recent
このごろの休日



2002.10.06

past
あのころの休日



随分と懐かしい写真が見つかった。日付から考えると、今から十五年前。ちょうど幼稚園の年中に当たる時期である。

これは私が子供の時に足繁く通っていた公園に隣接する神社の祭りに参加している写真だ。

照りつける太陽に目を細める私の隣に澄ました顔の姉が並んで写っている。お祭りの内容は近場の子供たちを集めて、お神輿を担ぎ、神社近辺をめぐるといふよくあるものだったと思う。

人見知りか激しく恥ずかしがり屋だった私を見慣れぬ人間が集まる「祭り」へと向かわせたのは、おそらく姉によるものが大きかったのだろう。母曰く、私と違い快活でやんちゃだった姉は「祭り」という人間のるつぽのような場所であっても何ら堪えるものがなかったらしい。また母曰く、その頃の私は刷り込みを受けた雛のように、疑いなく姉の後をついていくことが多かったらしい。

実のところ、この時の記憶はほとんど残っていない。十年以上前だから仕方ないのかもしれない。だが、とても疲れたこととそれと同じくらい楽しかったことは覚えている。

昼前まで惰眠を貪り、朝食を兼ねた昼食をたいたらげ、読みかけの小説に手を伸ばす。途中インスタントコーヒーを作って気分を変えてみたり、音楽をかけてみたり。そのまま夕食を迎え、その後は友人と通話しながらテレビゲームをし、疲れたところで解散。入浴して床に就く。

現在の私の休日は基本一人だ。本を読んでいるか、課題に苦しんでいるか、テレビゲームにのめりこんでいるか、アルバイトに勤しんでいるか、くらしいのもの。いつのまにか、人とかかわる機会を自分から避けていたのかもしれない。

改めて言えば、家族と一緒に過ごすことも昔と比べてかなり少なくなった。

仕方がないことではあるのだ。姉はすでに独り立ちしているし、妹も同世代の友達と出かけることが多い。別にこのことに不満はない。だが過去の写真を眺めていると、何となく寂しさとも孤独感とも言えない懐かしさのようなものを感じてしまった。あの日の私から何かが失われているのかもしれない。

今度、一緒に出掛けてみるのも悪くないだろう。

167/365

classday

平日

198/365

holiday

休日

休日が、休日として成り立つために必要なもの。

それが平日。

正しく言えば、休日じゃない日だけ。

どれくらいあったっけ？

例えば、

月曜日から金曜日まで授業があって、
時間外の授業を全く取っていない僕の場合なら。

前期で83日。

後期で84日。

合わせて167日。

意外と少ない。

じゃあ、休日は？

夏休みで53日。

土日祝日で77日。

冬休みで14日。

春休みで54日。

全部で198日。

数えてみてわかったことは、

こんなに休みが多いのに
ぼくたちはまだ休みを求めている。

ああもうなんか、

休日が終わらなければいいのに。

つづく。